

(議長)

はい。次に萩原議員の発言を許可致します。

「萩原議員」

議長。

(議長)

「萩原議員」。

「萩原議員」

はい。

早速質問致します。水産振興について、でございます。

年々漁業者の経営が厳しくなっている中、水産業振興費は昨年度とほぼ同じであります。このままでは町の漁業者が廃業してしまうかという不安を感じております。漁具等整備や漁船保険の掛金の補助以外に即効性の取り組みを考えているのでしょうか。

また、栽培漁業に関して、ナマコ・エゾキンチャクガイの現状と見通しはどうか。その他試験段階の昆布・ワカメ・ホヤについて、養殖事業の事業化はどうか。

水産業を原料とした加工品の開発はどうか、お伺い致します。

「町 長」

議長。

(議長)

はい、「町 長」。

「町 長」

萩原議員の1問目の水産振興に関してのご質問でございますが、近年、漁業経営が厳しい状況にあることは以前より認識しているところであり、漁業経営基盤安定対策事業による漁具の購入や漁船保険掛金の助成等による漁業者の負担軽減を実施して、実施するとともに、増養殖・放流事業への助成についても間接的には漁業者の負担軽減に繋がることから事業の継続を図ってきております。漁業振興の支援対策については、結果が出るまでには一定の時間が必要となります。しかしながら、議員ご指摘のとおり、江差の漁業を心配する声が多くあることも聞き及んでおります。出来るだけ効果的な支援策について、引き続き漁協や漁業者と協議、協議・検討して参りたいと考えております。

続きまして、栽培漁業の現状と見通しについて、でございますが、ナマコにつきまして

は、塚本議員への答弁と重複しますが、管内の他の町に比べて漁獲量が安定しており、種苗放流の効果等による、より、資源が維持されているものと考えております。漁業者自らが採卵・種苗生産・放流を行っているナマコ栽培漁業研究事業や、檜山管内水産振興対策協議会が行っている稚ナマコ100万尾放流などの取り組みに対する助成を継続すると共に、放流効果の把握にも努めて参りたいと考えております。

次に、エゾキンチャクガイ（ババノテ）については、平成29年度に生息状況調査等の基礎調査を開始したところであり、今後は水産指導所など関係機関と連携を図りながら、引き続き増養殖の可能性についての調査・検討を行って参りたいと考えております。

平成29年から、未利用資源の有効活用と漁業収入、漁業収入の向上を図るため、養殖試験に取り組んでおりますホヤ・昆布・ワカメにつきましては、平成30年度の初出荷に向けて生育状況は順調であります。今後は販路の開拓も含め、事業化についての検討を行っていくこととしております。

水産物を原料とした加工品の開発について、であります。現在、江差町観光まちづくり協議会が江差産ニシン活用促進対策事業を活用し、ニシンの原魚確保に取り組んでいるところであり、今後は江差産ニシンを使った加工品の開発なども検討し、検討していく考えであります。

また、漁協江差支所ナマコ協議会販売促進部が取り組んでいる「フリーズドライナマコ」につきましては、昨年12月28日から中国人観光客をターゲットに新千歳空港において、1箱10個入り4万8千円で試験的な販売を開始したところ、1ヵ月たらずで4箱が完売したと聞いております。さらに国内の有名シェフからも高い評価を受けており、新聞・メディアにも取り上げられるなど、今後の販路拡大が期待されているところであります。

水産物の高付加価値化となる活〆を含め、今後とも加工品の開発・ブランド化について関係機関・漁協・漁業者と協力して参りたいと考えておりますので、ご理解願いたいと思います。

**（議長）**

はい、「萩原議員」。

**「萩原議員」**

試験段階の昆布・ワカメ・ホヤについては、販路の開拓とかという答弁がありましたけれども、現在試験的に行っているババノテ（エゾキンチャクガイ）について、实际需要とかあるのか。また、なかなかここら辺で販売しているのを見たことないのですけれども、販売価格とかどのような金額になっているのか。お伺い致します。

**（議長）**

はい、「産業振興課長」。

「産業振興課長」

はい。

ババノテの需要、また販売価格等ということですが、現在、ババノテは流通しておりませんので、価格等については全く分からないというか値段が付いてないという状況でございます。それと、現状の調査につきましても、実はあの江差辺りからの北部、北の方で、このババノテが採れるということまでは分かっておりますが、ホタテと似た貝でございますけれども、繁殖がどのような繁殖の仕方をするのか、いつくらい産卵するのか、また人工でその採卵を助けることが出来るのか、そしてどのような環境に住むのか、そして籠だとか耳吊りのように、ホタテのように、栽培が可能なのか、全く分からない現状なんですよ。昨年からはじめました取り組みでございますが、昨年は漁業者にお願いしながらですね、どういうところに生息しているのかなどの確認をさせて頂いているところでございまして、今年度はそのような貝をある程度確保して、実際に試験をしながらですね、全く手探りの状況でございます。他所でもこのような取り組みはしてない中での、手探りの状況でございますし、江差町自体が、こういう水産の技術を持った職員がいる訳でないものですから、そういう中で、色々な機関の協力を頂きながらですね、取り組みをしているという状況でございます。まだ走り出してすぐの状況でございますが、現状でどのような効果がある、いつくらいには効果が出せるのではないかという見込みがある訳ではございませんので、その辺ですね、ご理解を頂きながらもう少しお時間を頂ければなという風に思っております。以上です。

(議長)

いいですか。

「萩原議員」

はい。

(議長)

2問目ですか。

「萩原議員」

いや。

(議長)

再再質問。

「萩原議員」

再再質問。

(議長)

はい、「萩原議員」。

「萩原議員」

分かりました。私、昨年3月に、同じ水産業、水産振興について、定例会で質問したんですけど、その答弁の中で、中間育成施設のことに関して、町としても複合的な機能を持った施設整備の必要性を認識しているところであり、という前向きな答弁を頂きましたが、現在、この中間育成施設についての整備についてはどうなっているのか。

あとですね、ちょっと気になったのが、なかなか水産振興については、檜山さけ・ます増殖対策事業補助というのが増えましたけども、予算化、予算化にならなかった水産振興費というのは何か出ていたのかどうかということ、お伺い致します。

(議長)

はい、「産業振興課長」。

「産業振興課長」

予算化にならなかったっていうのは、ちょっと、あれですかね。うちが、内部で課が申請したけど予算が実質今回提案されなかったっていう意味なのかもしれませんけども、そこにつきましてはですね、色々な案がある中で、進んでいることをございますので、その中で費用対効果含めて検討した結果が、今回ご提案させて頂いている結果だという風に私、認識しております。ですから、どんな案が今までにたくさんあったのか、出せと言われると、ちょっと言いきれないなと思いますので、そこにつきましてはご了承頂ければという風に思います。

それと、中間育成施設につきましては、必要性につきましては私共も重々認識をしているところをございますが、他所の施設も含めて見て頂くと、人件費、それから施設の維持管理費含めてですね、色々とお金がかかっていく訳でございます。これらの施設に係る経費、それから今言いました効果、色々比較した上でなければ、なかなか現状では1歩踏み出せない状況にある訳です。その辺は今後も、検討させて頂きながら、もし効果が出るということになるのであれば、おそらく前向きな踏み込みも出てくるのかなと思いますが、現状では前向きなお話しを出来る状況にはないということで、ご理解頂ければと思います。

(議長)

いいですか。

「萩原議員」

はい。

(議長)

はい。2番目の質問。

「萩原議員」

はい。

228号線かもめ島付近の国道について、でございます。

国道228号線かもめ島入口カーブ交差点について、昨年度は2度程の事故があったんです、ありました。それですね、実は先週の金曜日にもまた事故がありました。今年は雪の影響により、いにしえ街道側から国道に出る時、雪山の影響で大変危険でもありました。以前、交差点改良の方策を関係機関に要請しているとのことでありましたが、どうなっているのか。

また、歩行者の信号機を取り付けるとのことであったが、どうなっているのか、お伺い致します。

(議長)

はい、「町長」。

「町長」

萩原議員の2問目にお答え致します。

かもめ島入口のカーブ周辺につきましては、議員ご指摘のとおり、今年は特に積雪が多いことから、交差点付近の見通しが悪く、危険な状況となっております。既に、ご指摘の箇所につきましては、道路管理者である函館開発建設部江差道路事務所へ排雪の要望を行っているところでありますが、特に見通しが悪く危険な箇所につきましては、改めまして要望して参りたいと考えています。

また、かもめ島入口付近の交差点改良や信号機の移設につきましては、函館開発建設部において、関係機関との協議がなされているところでありますが、カーブ区間の交差点ということもあり、安全性の確保などの観点から、継続協議となっている状況にあります。

今後、かもめ島入口付近の交差点改良につきましては、北の江の島構想の具体化を進める上でも、必要不可欠でありますので、かもめ島周辺の整備方針を踏まえた上で、道路管理者並びに公安委員会に対しましても、一層の働きかけをして参りたいと考えております。

ので、ご理解願えればと思います。

(議長)

いいですね。3問目ですか。

「萩原議員」

いや、再質問です。

(議長)

はい、再質問。はい。「萩原議員」。

「萩原議員」

今回のこの228号線の除雪についての説明もありましたけども。実はですね、除雪はきちんとされているのですけれども、その後交差点付近に除雪した雪をですね、山積みにしていって、その関係でその見通しが悪くなっている状況で、除雪の仕方にもちょっと問題があるかなと思っております。排雪等につきましては、たぶん町に町内会等からかなりの要請があったと思いますが、町としては、開発にはどのようなかたちで要請しているのか、お伺い致します。

(議長)

「建設水道課長」。

「建設水道課長」

国道の排雪に係るご質問でございますが、町長の答弁にもございましたとおり、津花の、いにしえ街道の国道に出る交差点につきましてはですね、一般の住民の方からも見通しが悪くて危険だということで数件申し出を頂いてございます。すぐに、道路管理者であります函館開建の江差道路事務所の方に、連絡をして排雪の要請を行ってるところでございますが、実は先週にうちの直営の作業員の方で、近くの町道を排雪の作業をしていたところでございますけども、その段階においても、まだ排雪がなされてなかったということで、安全性の観点からですね、うちの直営の作業員の方で一部排雪をさせて頂いた経過がございます。今年は、特に降雪量も多くて、各道路管理者で対応が遅れている状況でございますけども、議員ご指摘の特に見通しの悪い交差点部などにつきましては、今年はだいぶもう雪山小さくなって参りましたがけども、来年以降のこともございますので、町道・道道・国道問わずですね、今後のパトロールの中で我々も十分注意して見て参りたいと思っておりますし、そのような危険な交差点については、各道路管理者の方へ、町と致しましても強く要望・要請をして参りたいと考えておりますので、ご理解をお願い致します。

(議長)

はい、いいですね。

「萩原議員」

はい。

(議長)

はい、3問目。「萩原議員」。

「萩原議員」

はい。道の駅について、でございます。

新年交礼会で町長が現在の道の駅について、お話しされていましたが、具体的な構想を伺いたい、伺いたい、伺います。

(議長)

はい、「町長」。

「町長」

萩原議員の3問目、道の駅に関するご質問にご答弁申し上げます。

今年1月6日の新年交礼会で、日本一小さな道の駅をリノベーションし、売り出したいと発言させて頂きました。過去に北海道開発局に問い合わせしたところ、施設規模の正式な情報は押さえていないとの回答でしたが、町職員が調べたところ、全国の道の駅を巡っている方2名から江差の道の駅が日本一小さいとお墨付きを頂きました。日本一は、武器になります。このような施設の場合には、小さいということはそのまま弱点となりますが、これを際立たせるようなリノベーションをすることにより、観光振興のために活用したいと考えております。

現在、町の事業により、北海道大学、北海道教育大学函館校、東北工芸大学の学生計26人が江差へ入り、道の駅や隣接する繁次郎番屋などをどのようにリノベーションし、どれだけ特色ある運営を行うことが出来るか、学生の視点でアイデアを頂いているところです。学生の感性を取り入れながら、また地域住民の皆さんの声も聞いた上で、日本一小さい道の駅をアピール出来る場所に磨き上げていきたいと考えております。

なお、リノベーションにつきましては、現在の道の駅に立ち寄ってもらった魅力づくりや特色を検討しているもので、大規模な改修などは想定しておりませんので、ご理解願いたいと思います。

(議長)

はい、いいですか。

はい、「萩原議員」。

「萩原議員」

現在の道の駅をリノベーションということでございます。ございますが、近隣町村におきましては、道の駅で成功しているといいますと木古内・厚沢部かなと私は思っております。また、上ノ国はリニューアル、七飯町も新設ということになっております。

現在の道の駅をリノベーションするというような回答を頂きましたが、観光の会議とかになると必ず出てくるのが新しい道の駅構想っていうのが出てくるんですけども、その新しい道の駅については、なかなか簡単なものではないと思います。今、「ぷらっと」も新しく運営されるということで、いうことではありますが、新しい道の駅の構想っていうのはどのように考えておりますか。

(議長)

はい、「追分観光課長」。

「追分観光課長」

現段階では、まだまだ将来の構想という中には、確かに開陽丸の方に道の駅というのは、色々な議論の中には出てきています。ただし、それがいつの段階でというのはまだしっかり出来て、着地点は見えていないというのが実際のお話です。

道の駅では、「ぷらっと」の方は道の駅ではないのですが、他の町から入ってきた方々が買い物出来る場所。今の、他の町の道の駅のような、そういう機能は持たせたいと思っています。

また、あの、今の道の駅を大きくするという事はまず不可能です。そういう意味ではいかにその魅力付けしながら、そういう魅力的な運営を出来るか、そういうところでしばらく、若干のリノベーションを加えながら、手を加えていきたいと考えていますのでご理解頂きたいと思っております。

(議長)

いいですか。

「萩原議員」

はい。

(議長)



はい。

以上で、萩原議員の一般質問を終了致しました。

**(議長)**

以上で、今定例会に通告がありました一般質問は全て終了致しました。

これで、一般質問を終結致します。